

## 中学校の部活動の現状、 課題・対策は

～部活動の支援、在り方について検討する～



く どう とも き  
工 藤 友 生

**質**

中学校の部活動の現状、課題を解決するために、どのような取り組みが行われてきたのか。

**答**

教育長

部活動の加入状況について、本市では希望制を採っており、市内全体としては88・2%で県下でも高い割合といえます。



大野・千歳中による合同練習(野球)

平成24年度より、複数校合同チーム編成規定を策定し、その結果、バレーボールや野球で中体連や新人大会に複数校の合同チームで参加しました。

しかし、合同練習の時間確保や生徒の輸送など問題点も浮き彫りになり、合同部活動の支援や学校の枠を超えた部活動の在り方について検討していきたいと考えています。

## 指定管理者選定における 公平性・透明性の確保を

～指定管理者選定等委員会の構成を  
検討し、情報公開を進める～

**質**

指定管理者選定等委員会が行政内部だけで構成されており、公平性を確保するために、委員の構成を検討すべきではないか。

**答**

財政課長

施設の在り方に応じて、委員会の構成を検討します。

**質**

審査内容や評価・採点などの情報公開は行われるのか。

**答**

財政課長

今後、公表の方向で進めていきたいと考えています。



こ ちよこ  
ちよこ 藤 恵

## 老朽化が進む消防東分署の建設を

～早急に改善する必要がある～

**質**

犬飼町にある東分署は、車庫も狭く老朽化が進んでいる。建設計画はあるのか。

**答**  
消防長

市民の安全・安心を守る災害活動拠点として、早急に改善する必要があると考えています。

**質**

財政状況が厳しいことから、来年度廃止の犬飼保健センターを活用することも一つの選択肢では。

**答**

消防長

現在、犬飼保健センターの今後の有効利用について関係課と協議を進めており、平成26年3月定例会において、一部改正に係る条例の提出を考えています。



鉄筋が露出している車庫の天井

**質**

現状の推進体制は、プロジェクトチームの市職員が従来の仕事と兼務で業務を展開している。無理があるのではないか。

## 国が認定の「食のモデル地域育成事業」の展開は

～6次産業化に取り組む～

**答**

市長

重要な施策であると位置付けていることなどから考えれば、専属的な人的配置も含めた体制づくりは必要であると考えています。

**質**

国から毎年1千万円の補助金を受ける5年間の事業だが、今後の事業展開は。

**答**

市長

新たな産品開発・地域食材を生かした料理の開発・リーダーの育成・食を通じたツーリズムなど、「食をキーワード」に生産から加工販売までの地域内循環を、個人とあらゆる団体がネットワークを結ぶ複合体とする6次産業化に取り組みます。